

## 曲岳&黒富士山行報告

【山行日】 2023年 9月 27(水) 晴れ  
【集 合】 岩舟支所P AM 5:00  
【費 用】 マイカー1台 : 6,000円  
【メンバー】 CL:鈴木ユ、 石澤、 福島  
【コースタイム】岩舟支所P5:00=曲岳登山口  
P7:30/7:45~曲岳 8:30/8:45~八丁峠 9:10~黒富士  
9:35/10:00~升形山 10:20/10:45~曲岳展望  
台 11:30/12:00~曲岳登山口 P12:30/12:40=  
双葉 SA13:15/13:25=岩舟支所 P15:30  
以前、ヤマケイの低山ハイクのコース案内で黒



富士が掲載され、富士山の眺望が素晴らしいと紹介されていた。いつか空気が澄んで富士山の眺望が良い日に登りたいと、自分の心の中で計画を練っていた。27日は晴れて湿度も低い予報なので、曲岳から黒富士をピストンで登るコースを計画し、個人山行で皆さんに案内した。急な案内なので参加申し込みが2名しか無く、3名での山行となった。初めて登る山なので、あまり大勢の参加者は困るが、3名では交通費が高くなるので迷ったが決行することにした。岩舟支所を5

時に出発し、東北道から圏央道中央道と走り、双葉 SA でトイレ休憩しそのままスマート IC から出る。ナビは萑崎 IC から大回りで案内したが、それでは時間が掛かるので自分で調べた道を進む。

予定通り曲岳登山口の駐車スペースに着き、車を方向転換して一番手前に止めた。駐車スペースは5~6台止められるが、今日は我々だけの貸切状態であった。出発の準備をしてストレッチを行い出発する。道路の反対側に登山口があり、自然林の登山道を登り始める。初めてのコースは不安もあるが、景色が新鮮で冒険心もくすぐられワクワクしながら登れるのが良い。登山道を進むといきなり岩場の登りとなり、ロープを頼りに岩場を登り尾根の反対側



に降りる。その後もスリリングな岩場が連続し、最後は大きな岩の狭い隙間をよじ登る。登り上がった岩尾根には「めまい岩」の標柱が立ち、少し先の岩頭に立つと展望が素晴らしい。

ここからヤセ尾根を進み、急坂を登り切ると山梨百名山の曲岳山頂に着く。

山頂は木立の中で展望は無いが、少し先の展望所に降りると南側が開け富士山の展望が素晴らしい。



展望を楽しんだら急な岩場を下り、「これを登り返すのは辛いな」と思いながら降りて行く。下り切ると緩やかな道になり、笹の中の道を気持ちよく歩くと八丁峠に出る。ここから右に進み自然林の気持ち良い道を登り、2座目のピーク黒富士に着く。ここも山梨百名山になっており、富士山や南アルプスの眺望が素晴らしい。我々だけの貸切山頂で、富士山の眺望を心ゆくまで堪能出来た。眺望を楽しんだら八丁峠まで戻り、途中の分

岐からおまけの升形山に登る。分岐を右に進み10分程登ると升形山山頂標識が立つ岩場に出て、そこから5m岩を登ると山頂に出る。狭い岩の頂上だが展望は素晴らしく、富士山から金峰山、瑞牆山の展望は抜群に良い。おまけの山で登ったが、実は升形山の標高が一番高く展望も良かった。只、山頂が岩場で狭く大勢での登山には不向きな山だと思った。ここから八丁峠に戻り、ここでランチタイムの予定だったが、時間が早いので曲岳まで登って食べることにする。曲岳への登り返しはきついと思っていたが、登ってみるとそれほどでもなく展望台に



着いた。ランチは K 澤さんの要望でラーメンを作ることにし、久しぶりに味噌ラーメンを作った。K 澤さんお手製のチャーシューや葱、F 島さんのメンマがトッピングされ本格的なラーメンをいただいた。目の前の秀麗な富士山を見ながら食べ、格別に美味しく感じた。ズツ〜と富士山を見ていたい気持ちを抑え、下山を開始する。手強い岩場の下りだが、アドベンチャー気分楽しく下り登山口に着了いた。3人での山行は軽快に歩け、予定より早く下山できた。靴を履き替えたら車に乗り、

来た道に戻って帰路につく。双葉 SA のスマート IC から入り、双葉 AS で買い物とトイレを済ませる。中央道は平日なので渋滞も無く順調に走り、予定より1時間30分早く岩舟支所に帰着出来た。